

施策3-1-1 望ましい生活習慣の定着

担当課 健康推進課

施策が実現できたときの状態

- 健康は、自己実現を図るための大切な条件の一つであるという事を多くの住民が理解し「自分の健康は自分で守る」という意識を持ち、日常生活を送る事ができます。
- 自分の健康を守るためには、自分の健康状態を把握することが大切です。その第一歩である各種健診の受診者数が増加します。
- 健診を受診した住民が、健診結果を理解、活用し、生活習慣の改善や必要な医療を受けています。特にも、死因の第1位を占める悪性新生物（がん）の受診率が向上し、精密検査の受診率が100%となり、必要な医療を受けることにより、がんによって亡くなる住民の増加を抑制できます。
- 各自治会において、健康づくり支援者を中心に「健康」をキーワードとした地域づくりが実施されています。
- 休日や夜間の在宅救急当番医制及び二次救急医療運営事業が継続実施されることにより、地域医療の確保・充実が図られています。

平成26年度の重点課題

- 自分の健康を意識するための第一歩としての検診受診を積極的に推進していきます。また、検診結果によりフォローが必要な方には訪問等により指導・助言を行います。
- 地域に積極的に出向き、健康づくり支援者とともに地域での健康づくり事業を実施、支援します。

施策の達成（実現）に向けた今後3カ年の取り組みと方針

- 検診は、自分の健康状態を把握し、健康づくりに取り組む第一歩として重要です。様々な工夫をして、受診率の向上を図り、病気の早期発見、早期治療に結びつくよう努めます。特にも、各種検診の受診率向上については、地域ぐるみでの取り組みを進めていきます。
- 市民が、健康教室等の地域での健康づくり事業に参加し、健康意識が向上し、運動・食事などの望ましい生活習慣の定着を図ることができるよう適切な情報提供に努めていきます。
- 「受けやすい検診」を目指し、集団検診の会場や日程等検討します。

施策目標値の達成状況

